令和７年６月 11 日発行

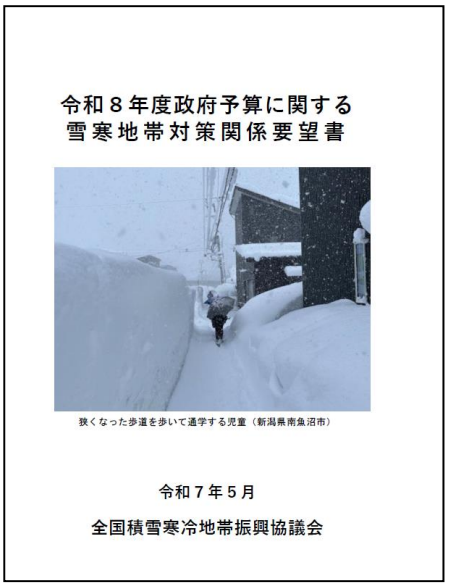
# 積 寒 協 ニ ュ ー ス

## 令和７年５月 30 日、花角会長が国土交通省に対し、令和８年度政府予算に対する要望活動を行いました。

去る５月 30 日（金）に、会長である花角新潟県知事が国土交通省に対して、令和８年度政府予算に対する要望活動を行いました。

本要望では、古川 康 国土交通副大臣に御対応いただきました。

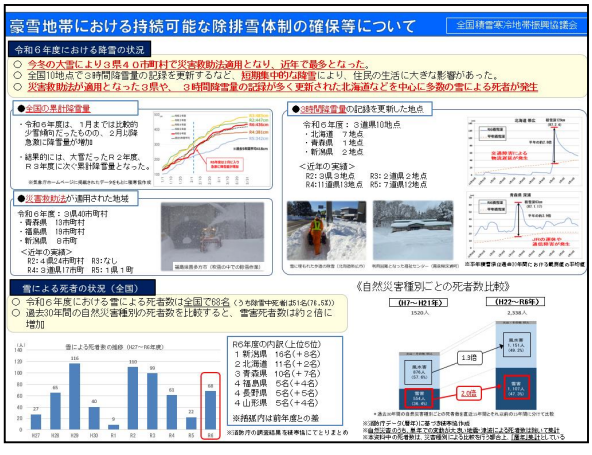
【参考】




（要望活動等に使用した要望書）

（国土交通省　古川副大臣へ要望書を手交）

会長から、令和６年度の降雪状況や雪による被害状況を説明し、道路除雪について、昨今の労務単価の上昇や急激な資材費の高騰などにより、地方自治体の負担は増大していることから、引き続き道路除雪費の確保に取り組むことや、補助対象の拡大などについて、強く要望しました。




（説明資料①　豪雪地帯の現状について）

令和７年６月 11 日発行

豪雪交付金等の支援制度については、地方自治体の意見を聞いて支援制度の見直し、改善を図るとともに、予算額の安定的な確保・拡充を行うよう要望しました。

また、深刻な担い手不足や死傷事故発生の抜本的な解決に向けて、除排雪に係る新技術の開発・普及について、国が率先して推進していくよう求めました。

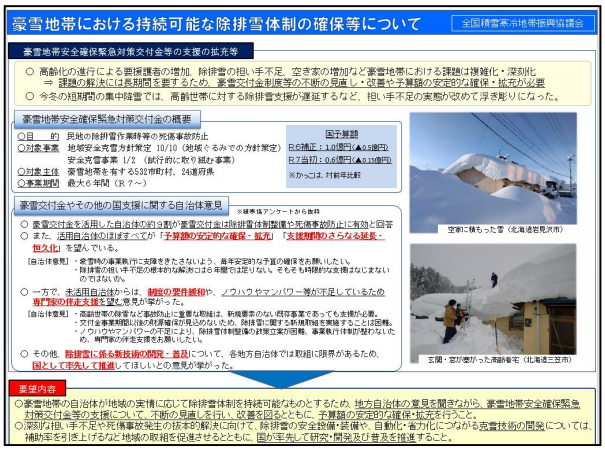
これらの要望に対して、国土交通省古川副大臣からは、「雪の問題は毎年の問題。（要望内容は）分かりました。」等の御発言をいただきました。

今後もあらゆる機会を通じて、要望実現に向けた働きかけを行ってまいりますので、皆様におかれましても引き続き御協力お願いいたします。

【事務局より御礼】
会員各位におかれましては、短期間における様々な調査や写真提供等に御協力いただき、誠に感謝申し上げます。
今回のような要望活動をはじめ、積雪寒冷地帯において住民が安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて取り組んでいくことは、本会の重要な役割と考えております。
今後も引き続き、本会活動に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【参考】

（説明資料②　道路の除排雪体制について）




（説明資料③　豪雪交付金について）